

食事会など

- 大人数を避け、長時間にならないようにする。
- 大皿を避け、料理は個別とする。
- 対面ではなく、横並びで間隔を空けて座る。
- お酌、グラス等の回し飲みは避ける。
- 飲食中は会話を控える。
- 定期的に換気する。



運動会、スポーツイベント

- 近距離での活動や接触する活動は控える。
- 更衣室はこまめに換気する。
- 大声での応援を避け、拍手で応援する。
- 参加者の呼気の影響を少なくするため、十分な間隔を確保する。
- 運動終了後は、マスクの着用を徹底する。



新しい生活様式に基づく 地域活動の手引き

～ 密を避け、絆をより密に ～

この手引きは、国が示した「新しい生活様式」の実践例や、「せんだい生活スタイル」を基に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と地域活動の両立を図るための基本的な考え方、活動の取り組み例などをご紹介します。地域の実情は様々ですが、活動を再開する際の参考としてご活用ください。感染症に負けない新たな生活スタイルを身に付け、地域の絆をより深めるため、無理のない範囲で地域活動を再開しましょう！

インターネットを活用した例

【オンライン会議】

スマートフォンなどの各種アプリ（Zoomなど）を使った、オンラインの会議です。役員会議など少人数での会議で用いられることが多いようです。それぞれが離れた場所に居ながら会議が行えます。

【SNS（ソーシャルネットワークサービス）を使用した電子回覧】

回覧板の他に、FacebookやLINEなどを活用した情報発信方法です。一度に複数の方に情報を伝えることができます。

人権への配慮を

新型コロナウイルス感染症は、あなたご自身を含めて誰もが感染しうる病気です。感染者、濃厚接触者、そして感染症対策の最前線で尽力されている医療従事者等とその家族に対する偏見や差別につながる行為は断じてあってはならないことです。感染者を疎外するような雰囲気ができ、感染したことを言い出しにくくなることで、感染症の発見を遅らせ、さらに感染が広がってしまうおそれがあります。偏見や差別的な言動に惑わされず、お互いを思いやり、支え合う気持ちを持って、確かな情報に基づいた冷静な対応をお願いします。一方、感染防止対策を講じて活動を行う側も、参加の強制はせず、参加者やそのご家族に不安を与えないように配慮しましょう。

お問い合わせ

青葉区まちづくり推進課	☎ 225-7211	太白区まちづくり推進課	☎ 247-1111
宮城総合支所まちづくり推進課	☎ 392-2111	秋保総合支所総務課	☎ 399-2111
宮城野区まちづくり推進課	☎ 291-2111	泉区まちづくり推進課	☎ 372-3111
若林区まちづくり推進課	☎ 282-1111	市民局地域政策課	☎ 214-6129

令和2年10月
仙台市



活動を行う上での基本的事項

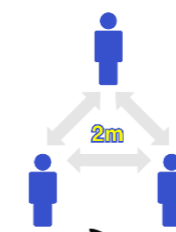
感染防止の3つの基本

身体的距離を確保しましょう。（できるだけ2m（最低1m））

会話をする際は 可能な限り真正面を避けましょう。

マスクの着用を徹底しましょう。（但し、熱中症などにも十分に注意）

手洗いや手指の消毒を徹底しましょう。（手洗いは 30秒程度かけて、水と石鹸で丁寧に）



「3密」の徹底的な回避



○密集しない
多くの人が集まったり、少人数でも近い距離で集まることは避けましょう。



○密接しない
間近で会話や発声することは避けましょう。



○密閉しない
窓がない等、こまめな換気（1時間毎に5分程度）ができない場所での活動は避けましょう。

地域活動を行うにあたって・・・

町内会



地域住民の理解を得ましょう

地域での活動を再開するにあたり、十分な対策を行った上で実施したとしても、感染拡大の不安を感じる方もいらっしゃると思います。

「活動の必要性」や「感染防止策」など、事前に地域の方々に周知し、理解と協力を得た上で活動しましょう。また、活動への参加が強制にならないように配慮しましょう。

特に注意が必要な活動

- 調理、近接した距離での飲食や会話を伴う活動
- 密接が避けられない活動（例：囲碁、将棋、麻雀 など）
- 運動することを主目的とした活動（例：踊り、ダンス、体操、運動会など）
- 歌唱や大声での発声を伴う活動（例：合唱、カラオケ など）

複数での飲食や密が避けられないなどの感染リスクの高い上記の活動について、やむを得ず実施する場合は「活動を行う上での基本的事項」（前ページ掲載の感染症対策）を徹底してください。

十分な感染防止策をとることが難しい場合には、中止・延期等もご検討ください。

体調不良の方は活動を自粛するよう呼びかけましょう

- ・事前の体温測定と健康チェックをし、発熱・風邪の症状がある場合は無理せず参加を控えましょう。（事前の体温測定をしていない方はその場で測定）
- ・症状がない方でも、体調等に不安のある方などは、自主的に参加を控えましょう。
- ・高齢者や基礎疾患があるなど重症化リスクの高い方が参加する活動においては、体調管理をより徹底しましょう。



参加者の連絡先の把握をお願いします

- ・万が一、感染者が発生し追跡調査が必要になった場合に活用できるよう参加者名簿（連絡先等記載）を作成し、活動日から1か月程度保管しましょう。作成にあたっては、個人情報保護の観点から、本人の同意を得ることとし、保管場所にも留意しましょう。
- ・参加者に厚生労働省から提供されている接触確認アプリ（COCOA）の活用を促しましょう。
- ・イベントに関しては、参加人数の上限（本市「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市の事業及び施設等の取り扱いに係るガイドライン」参照）を守りましょう。

各種活動事例における具体的な留意点

これまでの内容を取り入れながら、各種活動事例における具体的な留意点をお示しします。

なお、記載の活動はあくまで一例となりますので、各団体において、活動内容に応じて、適宜、感染拡大防止に努めてください。

定期総会、各種会議



- 総会などは、書面開催（※）や委任状の利用、開催日の複数設定などにより最小限の人数で開催する。
- 座席の間隔をできるだけ2メートル以上空ける。
- 換気をこまめに行い、会議は短時間で行う。
- 机やマイクなどを消毒する。

回覧板・チラシ配布



地域の大切な情報を共有しましょう

- 緊急性を考慮し、回覧等の要否を十分に検討する。
- 地域活動の告知等を行う場合は、実施にあたっての感染防止策を明記し、参加者の理解を得る。
- 直接の手渡しは避け、郵便受けに入れる。
- 受け渡しの前後には手洗いや手指消毒を行う。

清掃活動、除草作業など

きれいで快適なまちづくりを



- 作業はできるだけ2メートル以上離れて行う。
- 複数で行う作業は、マスク、手袋を着用する。（熱中症にも注意）
- 時間をずらしたり、草刈機などの活用により人数を絞って活動する。

会費等の集金



- 月々の集金ではなく、数カ月に1度など、可能な限り回数を減らす。
- 訪問時はマスクを着用し、金銭受け渡しの前後は手洗いを徹底する。
- 座振り込みの導入等により、人との接触を減らす。

地域のまつり

楽しみながら地域の絆を深めましょう



- 受付表などを設置し、可能な限り参加者の把握に努める。
- 出店等は店舗同士の間隔を空け、人が密集しないようにする。
- 出店等への行列で密集が起こらないよう、整理券を配布し、間隔を示す目印の設置などの工夫をする。
- 出店等での現金の受け渡しは、トレーを使用する。
- 会場内での飲食を可能とする場合は、密集となるような飲食場所は設けない。
- 調理員は必ずマスク、手袋を着用し、手袋はこまめに交換する。
- 複数人で使う調理器具、食器はこまめに消毒、洗浄する。
- ごみの回収は、マスク・手袋を着用して行き、ゴミ袋は密閉する。
- 出店等での飛沫感染防止のため、ビニールシートやアクリル板を設置する。

※書面表決例は、仙台市ホームページからもダウンロードできます。

ホーム > くらしの情報 > 学ぶ・楽しむ・活動する > 地域活動 > 町内会 > 町内会運営お役立ち情報

<https://www.city.sendai.jp/chiikisesaku-kikaku/kurashi/manabu/chiikikatsudo/chonaikai/une/index.html>